

橘町の見どころ

まちの歴史シリーズ ④②

橘町HP <https://tachibana-net.jp>

歴史・史跡をクリック

発行：橘町まちづくり推進協議会
ふるさと部会
発行日：令和7年12月1日
責任者：吉野 勝美
原稿作：宮下 正博
事務局：橘公民館 22-3884

今月号の案内者は

上野区長 溝上 俊次さん



今年の「橘くんち★①」は
神輿が新しくなった★②。

ご寄付いただいた皆さま、
ありがとうございました。

そいけん、今回は**くんちと**

神輿のことば、ちょっとばっかい
紹介すっばい。詳しくはタッパ君
とミサエちゃん、よろしく。



●潮見神社の前身は、潮見山に祀られて
いた「島見社★③」だと考えられているよ。

●律令時代(奈良～平安前期ころ)には、
ここは島見郷と呼ばれていたんだ。

●今から約800年前、1237年に橘に
やって来た橘公業さんが、潮見神社を
自分たちの氏神とするんだけど、その頃
には「潮見神社」がすでにあっ★④んだ。

●ここでは、すでに流鏝馬★⑤も行われて
いて、熊本県の菊池を領地していた菊池
経直★⑥というえらい人が、流鏝馬で落馬
したので、くんちの時「墓前祭」が行わ
れているよ。

●神輿がいつからあるか不明だけど、今
度の修復では、江戸時代の大工の名★⑦
や昭和の初めの総代さんの名前がでて来
たよ。

★① 橘くんち

どんな祭りなの？



プログラムをかんたんに紹介するね
(時間はだいたいの予定です)

9:00 奉納相撲大会 土俵まつり

小学校児童の相撲大会

10:00 (この頃、菊池神社一行到着)

10:30 経直公墓前祭

11:30 健勝祈願

12:00 (神輿行列者集合、着替え)

13:00 上宮祭 終了後神輿スタート

13:30 中宮祭 終了後神輿行列

このとき、神輿の下をくぐり抜け
ると、ご利益がある

14:30 神輿を上宮へ

★② あたらしくなった神輿

どこが新しくなったの？



右の写真を見て！
新しくて、ぜ～ん
ぶ、ピカピカになっ
たヨ。
かがみもピッカピカ



★③ しまみ社

毛利龍一氏(今の宮司さんのひいじい
ちゃん)の『潮見神社由緒記』に書いて
あるヨ



★④潮見神社は 橘 公業さんが始めた？

潮見神社はいつからあったの？



注③ 菊池経直は菊池氏 5 代当主。菊池氏は熊本県菊池市を中心に領地していた豪族。菊池氏がわざわざ潮見までやってきた理由を「荘園を支配していた」説がありますが、菊池氏は高木一族で、高木氏一族が肥前一円を支配していたからと思われます

★⑦江戸時代の大工の名

こんどの修繕でどんなことが分った？



ワシから言おう。ワシが登場するのは初めてじゃが、じいさんになった公業じゃよ。

長嶋庄にやって来た時には、神社はすでにあったんじゃ。名前がしまみ社だったか、潮見社だったか・・・。
記録が燃えてしまって不明なんじゃ。

注①島見郷は飛鳥時代のはなし。それから 400 年以上もたって、島見郷には荘園ができ、長嶋庄とよばれていました。



★⑤⑥潮見社のやぶさめと菊池経直

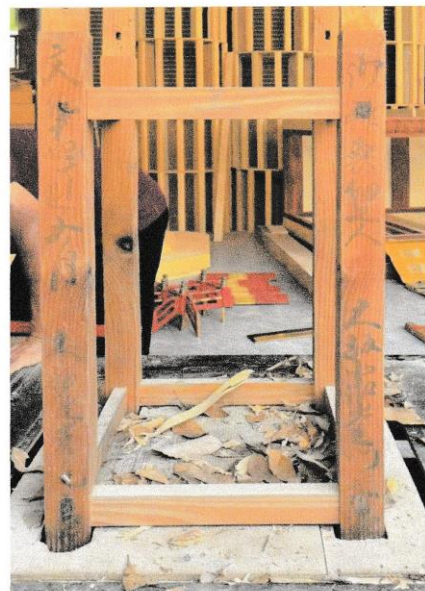
武雄とどっちが古いの？

菊池経直さんが落馬したのが 1186 年 6 月。武雄神社の流鏑馬は、この年に始まったとされるから、潮見社の方が古いらしいネ



潮見神社 御神輿の翻刻(ほんこく)

①



左側柱 文化14丁丑(1817年)5月 大工〇〇
右側柱 神輿細工人 大坂北御堂門前 通り
※江戸時代 第11代將軍徳川家斉 208年前

神輿の部位名と部品取り付け

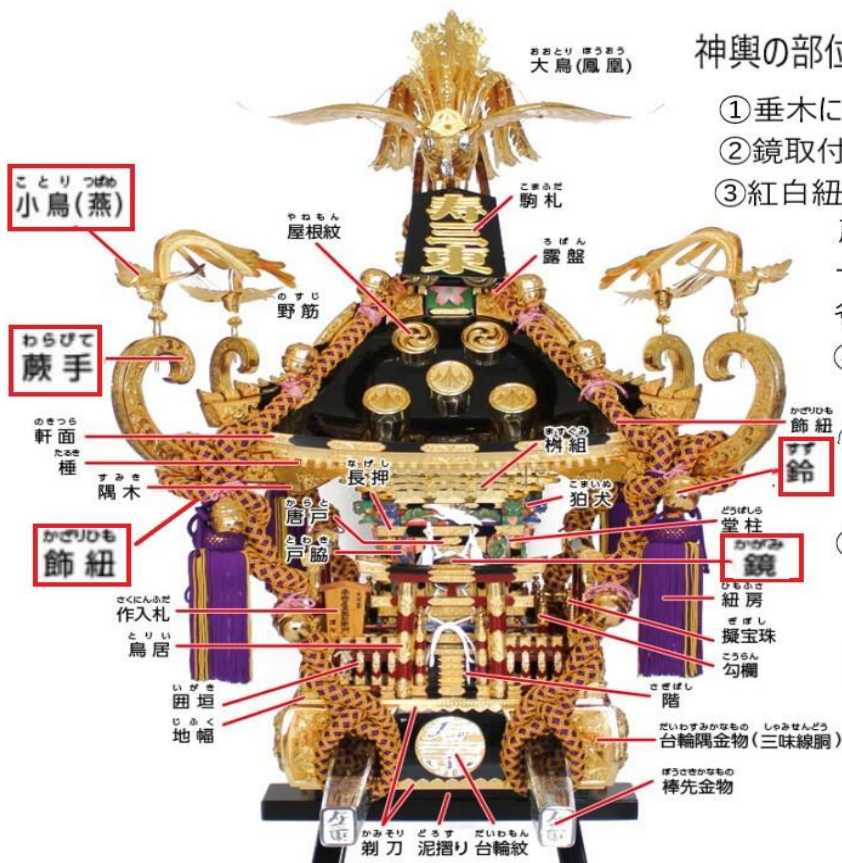
- ①垂木にすだれを取付け
- ②鏡取付け
- ③紅白紐取り付け

蕨手の根元に結ぶこと
一方の端を担ぎ棒に他の紐でくる
各々に3個づつ均等に鈴を取付け

- ④ 蕨手に燕を差し込む
蕨手下の留金参照
- ⑤ 留金部に蕨手飾りを下げる
飾の取り付け部参照
蕨手部の完成形写真参照
- ⑥ 担ぎ棒の留金(突起部)が前側
鳳凰を頭が前になるように差し込む
以上で完成！

※欄干部や蕨手などすべてが華奢にできているので、それらの部位を手で引っ張ったりしない事

※今月号の出典は吉野千代次氏の「橘町史跡めぐり」と中島信夫氏の「橘町の歴史」を参考にしました。



今回ご紹介したのは『潮見神社の歴史』でした(始まりについては記録がありません)